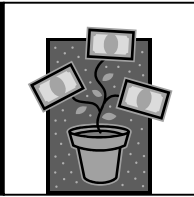


JACとマネーの木 フリマでファンドレイジング



Made in
Cambodia

春のあたたかな日差しに包まれた4月17日(土)、JACファンドレイジング☆フリマ☆を行いました。会場の大井競馬場には10名を超える同窓生が集まりました。そしてJAC皆様から寄付していただきました物品で3畳近いスペースいっぱいになりました。ご協力、本当にありがとうございました！

今回の目玉商品は同窓生の本橋誠さん(81C)が遙かカンボジアから持ち帰ってくださった“カンボジア製品”！ご存じの方も多いと思いますが、本橋さんはおとしよりシニア海外ボランティアとしてカンボジアに渡られ、現地の学校で英語を教えておられます。カンボジアで出会われたハンドメイド製品の素晴らしさを、是非日本の方々にも知ってもらいたいという思いで、今回、約10種類の製品を数点ずつ寄付して下さいました。大中小セットのポーチ、手に馴染みのよいペンケース、お洒落をした日に是非持ちたいミニバック、ジープンルックにもぴったりで男性陣にも人気のボッショット、さらには、素敵なスカーフやゴージャスなテーブルクロスまで、どれも手作りの温もりが感じられる製品ばかりでした。カンボジア製品の魅力は、深みある魅惑的な色合いとあたたかな素材感、そして心のこもった手作り感です。ここ数年の技術の進歩には目を見張るものがあるとの本橋さんの評価通り、どの製品も仕上がりがとても良く、ずーっと大切にしていきたいと思わせる品物ばかりで、お客様にとっても喜んでいただきました。本橋さん、本当にありがとうございました！

この日の売り上げは、かかった実費を差し引いて17,500円でした！この資金は、JAC同窓会での活動資金として有効に使わせていただきたいと思います。

最後になりましたが、当日会場に集まってくださりファンドレイジングの原動力となった本橋さんをはじめ同窓生の皆様、一緒にフリマを開いてくれたAshこと大西彩香さん(97C)の荻大の演劇仲間達、楽しく充実した一日となりました。ありがとうございました。これからも、“人”から“もの”まで、新しい出会いあり交流ありの有意義な時間を、なんらかの形で持っていくことができればいいな、と感じた一日でした。(富田愛里00E)

いよいよこの夏より UWP の活動が再開！

来る6月19日・20日、新参加者オリエンテーションを UWP が以前より交流を続けている“日の出太陽の家”で行います。

今までは日本オフィスが中心となって開催していましたが、今年は JAC の UWPST チームを中心に、“お役立ち情報”をたくさん盛り込んだ内容を企画し、出発前の新参加者をサポートしていきます。同窓生のメーリングリスト“うじゃ”で、「持っていくと便利な物」、「参加に向けてこんなことをしてました」、その他楽しいエピソードを募集。同窓生の声を生かし、準備を進めてきました。

当日は、10数名の同窓生がそれぞれ自慢のキャスト T シャツを着て集合。チームビルディング、異文化レクチャー、そして夜には、恒例となっている施設の方々との交流会。 98-00年のショーで歌われていた“One to One”、施設の方々が大好きな“なごり雪”、“乾杯”と一緒に歌い、交流を深めます。

UWPST (あっぷすとう)

まだまだ同窓生参加者募集中！

日時:6月19日・20日 6月19日11:30AM 青梅駅改札前 集合

参加費:3500円 (宿泊、2食分含む)

詳しいお問い合わせは JAC@upwithpeoplejapan.gr.jp か 044-411-9721 (長岡/97B)まで

皆さん、こんにちは。「しんいちの部屋」第2回をお送りします。2000年末の活動休止のアナウンスから約3年半。とうとう、UWPの新プログラムがスタートします。

スタートに向けて、デンバー本部では最終的な準備が進んでいます。

今回のグループには、7名のロードスタッフが同行しますが、その中には日本ツアーでお馴染みのスタッフも参加しています。まず、グループの長である、Program Manager は、Bob Sloat、Operations Manager は、Anke Sloat (Bob と結婚しました)、交流活動や Community Cerebration Event で中心となる Artistic Director には、ドイツから Nina Maas。日本代表は、Education Facilitator/Cross Cultural Focus で、ご存じ岩波華乃 (2000A) がチームの一員となります。

2004年夏プログラム、ツアースケジュール

8/2-8/16	Denver, Colorado, U.S.A 【オリエンテーション】
8/16-8/23	Broomfield, Colorado, U.S.A.
8/23-8/30	Kamloops, British Columbia, Canada
8/30-9/6	Victoria, British Columbia, Canada
9/6-9/13	Nanaimo, British Columbia, Canada
9/13-9/20	Burnaby, British Columbia, Canada
9/21-9/27	千葉県我孫子市 (受入先:住みよい街づくり研究所)
9/27-10/4	長野県丸子町 (受入先:丸子町)
10/4-10/11	京都府 (受入先:京都府国際センター)
10/11-10/18	愛知県豊田市 (受入先:豊田市国際交流協会)
10/18-10/25	神奈川県小田原市 (受入先:小田原市)
10/25-11/1	東京都多摩市 (受入先:UWP多摩実行委員会)
11/1-11/8	Antwerp, Belgium
11/8-11/15	Utrecht, The Netherlands
11/15-11/22	Koln, Germany
11/22-11/29	Erfurt, Germany
11/29-12/6	Bern, Switzerland
12/6-12/13	Rome, Italy

しんいちの部屋

この度の新しいUWPの運営方法では、UWPから各地へECなどのスタッフを送り込むことはせずに、地元の皆さんが中心となる実行委員会を中心として、最長で1年前から準備を進めていただいています。また、2000年までは、受入地から日本ツアーへの協賛金を負担していただきましたが、今回は食事や交通費など地元でかかる経費のみを地元で負担していただくようになり、金銭的な負担も軽減されています。欧米、特にヨーロッパでは、実行委員会に同窓生が深く関わっています。日本の同窓生にもぜひ積極的に関わっていただき、各地で皆さんの経験を生かしたよい交流活動ができるようになればよいと願っています。実行委員会だけではなく、ホストファミリーや活動日当日のボランティアなどでも、ぜひご協力をお願いいたします。

※お問い合わせ:

Up with People 日本オフィス/千葉サテライトオフィス

TEL:043-302-1617 FAX:043-302-1633

smiyawaki@upwithpeople.org http://www.upwithpeople.org

新ミュージカル”A COMMON BEAT“

～UWP 同窓生98～00castより13名参加～

主催: NPO コモンビート

公演: 2004年3月6日(土) 大阪厚生年金会館

2004年3月14日(日) 東京メルパルクホール



2000年のプログラムをもってUWPは活動を休止。その年から新たに上演していたミュージカル「A Common Beat」は、それをもって永遠に上演されないものと思われました。

ところが、UWP同窓生のハン・チュソンはUWP終了後、NPOピースボート世界一周船の旅のプログラムの中でこの「コモンビート」を参加者達に教えて地球を4周。そして今回UWPからもピースボートからも独立した形で「NPOコモンビート」を立ち上げました。総勢120名あまりが参加したこのミュージカルは、深い感動と大きな満足感と共に第1回公演の幕を閉じました。

メンバー初の顔合わせの1月半ばから上演までの2ヶ月間は、当時学生だった私にとって卒業がかかる大事な時期だった。それでもこのミュージカルに参加しようと思ったのは、UWPが半年で終わったことによる不完全燃焼の思いから。ミュージカル上演当日、舞台の上でキラキラと輝いているUWPの仲間を見に来た同窓生の方々には、きっとUWPとコモンビートの未来の可能性を感じてもらえたに違いない。UWPの終了と共にもう日の目を見ることがないと思われた私達の思い出のミュージカル「A Common Beat」。それがこのような形で日本に息づき、多くの観客を魅了し続けていくのかと思うとこれほど嬉しいことはない。(00A 岩波華乃)

・コモンビートはとてもいいSHOWだから、それがUWPの1年で終わることなく、もっといろんな人に伝えることができて嬉しいです。UWPでは日本をまわるキャストではなかったから、日本で家族や友達に紹介できたこともうれしい。今ではこのショーを通じてNPO団体も立ち上がりました。今後もさらにいろんな可能性に期待しています。(00E 横手洋子)

・アップとはまた違う盛り上がりやエネルギーを感じました。みんなでショーやって、ステージの上ではとても楽しかったです☆アップの曲で伝えられるメッセージはすご〜いと、改めて実感しました。NPOコモンビートとしては、まだ私もよく分からない部分があって、アップとは目的も内容も違いますが、良い形でお互いが交流できたらいいなあと思います。(97B 金井貴美)

・みんなの目的がひとつなら何でもできるんだ、と改めて実感しました。UWPの後、忘れていた感覚をたくさん思い出せた気がします。また、UWPでの1年間の消化不良だった部分もきれいに消化されました。今後もUWPとコモビの経験を上手に生かしていきたいと思います。(98A 武田聡美)

・本当に参加出来て良かった！正直日本人だけの”A COMMON BEAT”…正直、参加するにあたって不安も沢山あったし、UWPしか知らなかった私にはどんなものになるのか想像もできなかった。日本人が演じるのに英語のShowなんて日本で受け入れてもらえるものなのか、ほとんどがピースボート出身のCASTの中に自分が馴染めるのか…でも公演参加に集まった皆は本当にA COMMON BEATが大好きで、そしてShowへの思い入れは圧倒されるくらい強く、私は素直にそんな人達と出会えて嬉しかったし、その気持ちを共有したいと思った。UWPのShowのメッセージが間違いなく確実に誰かに伝わって、広がっている。UWPが1度closeし、A COMMON BEATというshowが出来なくなっても、それでもこのshowがまだ公演され、メッセージが伝え続けられているのは本当に喜ばしいことだと思った。そんな横の関係がもっともっと広がっていけば、いつか世界中に思いが届くかもし

れない、なんて奇跡を信じてくれる自分に変わりました。(00E 小野美絵)

・Can you hear a common beat? Up with people is committed to bringing the world together. There are thousands of groups in the world that believe in the same message of peace and understanding. If we all could get together we would make an even bigger impact on the world. There are thousands of Up with people alumni, and more to come. There are even a greater number of people who saw the show from the audience and remember the songs. The idea that thousands more can see this show, that touches your heart and motivates your mind, is a wonderful gift. (00E 服部ケイティー)

・UWPでは想像もしなかった日本人だけの”A COMMON BEAT”…正直、参加するにあたって不安も沢山あったし、UWPしか知らなかった私にはどんなものになるのか想像もできなかった。日本人が演じるのに英語のShowなんて日本で受け入れてもらえるものなのか、ほとんどがピースボート出身のCASTの中に自分が馴染めるのか…でも公演参加に集まった皆は本当にA COMMON BEATが大好きで、そしてShowへの思い入れは圧倒されるくらい強く、私は素直にそんな人達と出会えて嬉しかったし、その気持ちを共有したいと思った。UWPのShowのメッセージが間違いなく確実に誰かに伝わって、広がっている。UWPが1度closeし、A COMMON BEATというshowが出来なくなっても、それでもこのshowがまだ公演され、メッセージが伝え続けられているのは本当に喜ばしいことだと思った。そんな横の関係がもっともっと広がっていけば、いつか世界中に思いが届くかもし

編集後記

時間のなかで原稿執筆にご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。紙面の関係で、かなり内容を割愛してしまいました。申し訳ありません。でも、現在作成中のホームページではオリジナル版をしっかりと載せさせて頂く予定です。写真もたっぷり使って。乞う、ご期待！